

### (3) 環境部会・パトロール

協力会社で構成している小丸川安全環境協議会 (OSE) に環境部会を設置し、月1回の頻度で環境に関する調査結果を報告するなど、環境マネジメントプログラムの遵守状況を協力会社へ周知するとともに、環境保全に関する事項について協議しています。

また、環境部会の会員により、工事用道路及び工事現場の環境パトロールを定期的に行っています。



環境部会の活動状況

### (4) 内部環境監査

建設所長が選任した「内部監査組織」により、EMSの適切な運用状況を確認するため、原則として年1回内部環境監査を行っています。監査による指摘事項については、都度見直しを行い、継続的なシステムの改善に努めています。



内部監査状況

#### ■ 内部環境監査の実績

監査回数	実施日	指摘件数(件)
第1回	2001年7月4,5日	11
第2回	2002年2月13,14,20日	8
第3回	2003年2月19,20,24,26日	11
第4回	2004年2月17,24,25日	5
第5回	2005年3月3,7,8日	2

### (5) 環境教育

建設所員及び工事関係者の一人ひとりの環境保全に対する知識、理解を深め、環境負荷の低減に対する意識の高揚を図るため環境教育を行っています。また、独自に安全環境ノートを作成し、教育時に活用しています。



環境教育状況



安全環境ノート

## ■ 2004年度教育の実績

教育名	内容	対象者	受講者数(人)
EMS 内容教育	環境マネジメントシステム(EMS)の要求事項に適合することの重要性、EMSに関する内容等の習得	全所員	94
環境講習会	現場作業を実施する上での環境保全に係る知識の習得	全所員並びに協賛会社の職員及び作業員(未受講者)	41
専門教育	監視及び測定に関する手順の習得(各課・工事区にて実施)	全所員	94

なお、当建設所の社員が保有する環境関連の資格は以下のとおりです。

## ■ 当建設所員の環境関連資格の保有状況

資格名	資格者数(人)
ダイオキシン類公害防止管理者	1
廃棄物処理施設技術管理者(ゴミ処理施設)	1
エネルギー管理士	1
情報処理技術者	1
ISO14001審査員補	1
ISO14001内部環境監査員	12
有機溶剤作業主任者	1
衛生管理者	1
危険物取扱責任者(乙・丙種)	14
防火管理者	4
酸素欠乏危険作業主任者	2

## (6) 緊急事態訓練

緊急事態を想定し、設備対応、情報伝達、環境への影響の拡大防止等の事故対応訓練を定期的に行っています。



地下発電所総合避難訓練

## ■ 2004年度訓練の実績

訓練名	実施日
建物火災消火・避難訓練 (火薬庫火災・爆発訓練含む)	12月1,2日
地下発電所総合 避難訓練	10月26日
濁水流出事故処置訓練 (浄化槽からの汚水流出 ・濁水処理設備からの濁水処理剤の流出 ・重機・車両からの油流出 ・塗装時の塗料流出訓練含む)	12月17日(上部ダム工事区) 2月15日(下部ダム工事区) 6月14日(発電所工事区)

## (7) 外部環境審査

2001年8月認証取得以来、EMSが適切に運用され、維持されていることを確認するため、第三者審査機関による定期審査を毎年受けています。さらに、認証の有効期間が3年であることから、3年目には更新審査を受け更新継続しています。審査による指摘事項については、都度見直しを行い、継続的なシステムの改善に努めています。



審査状況(審査前会議)

## ■ 外部環境審査の受審状況

審査名	年度	2001	2002	2003	2004
認証取得		◎			
更新審査					◎
定期審査			◎	◎	

## ■ 外部環境審査の実績

審査名	実施日	指摘事項(件)	
		不適合	要望事項
認証取得	2001年8月7,8日	0	5
定期審査(第1回)	2002年8月6,7日	0	2
定期審査(第2回)	2003年7月24,25日	0	6
更新審査	2004年6月23~25日	1(軽微)	7